

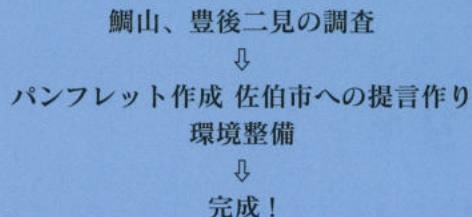
## 魚の形の山!?

『鯛山』。

これは、魚の形に似ていると命名された山です。すぐ側には有名な豊後二見があります。観光客だけでなく地元の中でも『鯛山』を知る人は一部だけです。今回は、今まで脚光を浴びることのなかった山、『鯛山』を紹介します。見てみたい人は、是非、東雲中に来てください!



## パンフレット作成の流れ



### 今後の活動

- 上浦の魅力のアピール
- 伝統行事の保護
- 自然環境の保護



### 佐伯市立東雲中学校

〒879-2601

大分県佐伯市上浦大字浅海井浦 2-2

☎0972-32-2009

# 上浦

東雲中学校

上浦へようこそ!

上浦の中学生がパンフレットを作成しました。上浦には豊後二見ヶ浦をはじめ、たくさんの観光スポットがあります。ぜひ、このパンフレットと共に上浦を楽しんでください♪



このパンフレットはさいきうつくし作戦実行委員会のご支援によって作成されました。

## 初日の出の名所

### 豊後二見ヶ浦

しめ縄の長さで1994年にギネスブックに登録され、上浦のシンボルになっています。3月上旬と10月上旬には、夫婦岩の間の中央から日が昇る様子を見ることができるため、1年を通して日の出を眺める人が多く訪れます。



# 鯛山

私たちは総合的な学習の時間に「鯛山の魅力をアピールしよう!」というテーマで学習してきました。学習するにあたって、「地質」「歴史」「植生」「動物」の4つの視点から鯛山を見つめていきました。

## 【地質】

鯛山の地層は、大昔の海底に堆積した砂岩と泥岩からできています。

海溝付近に堆積した砂岩・泥岩層をのせた海洋プレートは、次第に大陸側の下に沈み込んでいきました。

その時、砂岩・泥岩層は大陸側に押しつけられはぎ取られて「しわしわの地層」となります。この地質を「付加体」といいます。

鯛山の地層は、砂岩と泥岩からなる「付加体」でできています。大陸と海洋プレートの境界近くでは地震が発生する可能性が高いので、上浦では防災活動に取り組んでいます。



## 【歴史】

鯛山にはこんな歴史があります。

- 終戦前は、天皇の写真が祀られた奉安殿という建物があった。

(鯛山の裏の浜で授業をしたことも) 奉安殿は、終戦後に「暁嵐公園」に移され、戦没者慰霊堂になっている。今は、鯛山に奉安殿跡の石碑がある。

- 昔の鯛山には黒松の木がたくさんあり、戦時中に松ヤニが燃料として使われた。あるカミキリムシの寄生虫の影響で、黒松が枯れてしまった。

今後は、黒松の木や森を守る活動をしていきたいです。



## 【植生】

鯛山の森林は法律上「魚つき林」ではありませんが、海岸近くの魚を寄せつける効果がある“魚つき林とまったく同じ働き”をしています。

この“魚つき林”があることで、魚に日陰を作ったり、魚の餌であるプランクトンを多く作れたりもします。

山には、主に「黒松」や「ウバメガシ」などの木が自生しています。

中には、樹齢100年を超える木もあるそうです。



## 【動物】

鯛山に大型動物は生息していませんが、上浦全体には猿や鹿、猪など多くの動物が生息しています。野生の猿が見られるかも…!?

また、上浦には多くの鳥類も生息しています。

野鳥の種類で、上浦の自然度を評価すると、上浦は最高ランクの評価でした! バードウォッチングなどいかがでしょうか?

